

## Ⅱ 三重県ブース出展の記録

### 1 関西パビリオン

滋賀県、京都府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県、奈良県（大関西広場・催事）が出展参加

#### (1) 来館者数

148万7,393人

#### (2) 建物・展示



パビリオン外観（昼）



パビリオン外観（夜）



パビリオン側面デザイン



エントランスゾーン



センターサークル



各府県「触って感じる展示物」

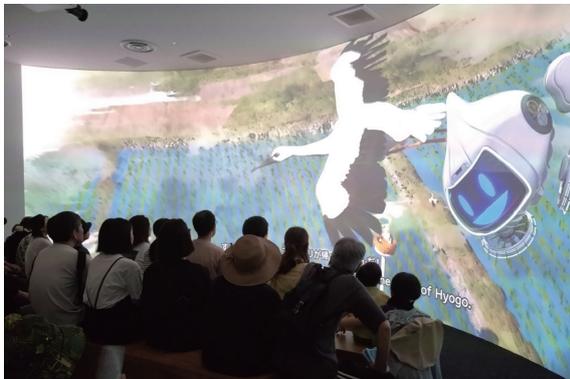
## 各府県ゾーン



滋賀県ゾーン



京都府ゾーン



兵庫県ゾーン



和歌山県ゾーン



鳥取県ゾーン



徳島県ゾーン



福井県ゾーン



奈良県イベント (多目的エリア)

### (3) セレモニー

| 日 程    | セレモニー  |
|--------|--|
| 3月23日  | 関西パビリオン完成記念お披露目会                               |
| 4月9日   | 関西パビリオン開館式                                     |
| 5月6日   | 関西広域連合委員等による関西パビリオンのPRイベント                     |
| 5月22日  | 関西パビリオン来館30万人達成記念セレモニー                         |
| 6月25日  | 関西パビリオン来館50万人達成記念セレモニー                         |
| 8月28日  | 関西パビリオン来館100万人達成記念セレモニー                        |
| 10月13日 | 関西パビリオン来館148万人達成記念セレモニー・感謝セレモニー<br>閉館お見送りセレモニー |



来館30万人達成記念セレモニー



来館50万人達成記念セレモニー



来館100万人達成記念セレモニー



来館148万人達成記念セレモニー・感謝セレモニー



閉館お見送りセレモニー

## 2 三重県ブース

### (1) 来場者数

63万2,334人（1日平均3,437人）

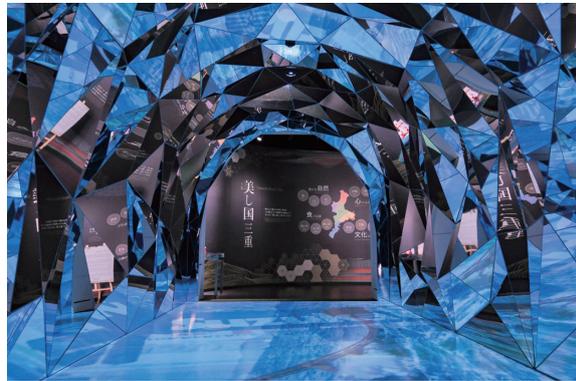
### (2) 常設展示

#### ①時のトンネル

ミラーの反射を使った幻想的なトンネルで三重県ブースの来場者をお出迎えしました。床面に熊野古道伊勢路など、県内29市町の美しい自然や観光地、祭りの映像などで構成された映像を投影し、周りの約400枚のミラーの反射によって、美しい映像の広がる空間を演出しました。



三重県ブース正面



#### ②イントロダクションウォール

時のトンネルを抜けると、イントロダクションウォールが登場し、三重県が「<sup>うま</sup>美し国みえ」たる所以を壁面にて紹介しました。



### ③ 美し国みえ体験広場

5面の壁面スクリーンに、県内5エリアごとに自然や観光、祭り、食の映像を投影するとともに、地域の特産品や観光スポット等をからくり仕掛けの引き出しを使って展示しました。各エリアのキーワードにちなんだ展示物が入った計25個の引き出しを来場者自ら開けて「見る」「触る」「香る」「聞く」「体験する」で各地域の魅力を体感していただきました。

また、期間限定の特別展示や市町ワークショップも当エリアで実施しました。



## 引き出し展示

### ■北勢エリア「ものづくり」

北勢エリアは、温暖な気候と通気性の良い土壌、昼夜の気温差の大きさによりさまざまな栽培（ものづくり）に恵まれる地形をもつ。

#### 【気候・風土】

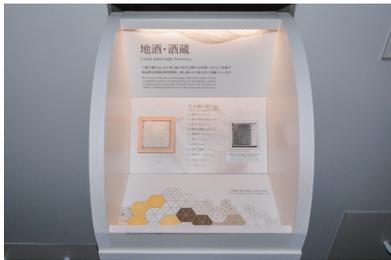


#### ●展示解説

比較的温暖で夏季に降水量の多い平野部と、“鈴鹿おろし”とよばれる季節風の影響を受けた積雪量の多い寒冷な鈴鹿山脈を有することで昼夜の気温差が大きくなる気候と風土が、さまざまな栽培（ものづくり）に適しています。

※モニターでは北勢エリアの名所の四季を楽しめる映像を再生

#### 【地酒・酒蔵】



#### ●展示解説

三重の蔵元は、山の幸、海の幸など様々な料理に合うよう多様で高品質な地酒を研究開発し、美し国みえの食文化に貢献しています。

※本物の酒米に触れるとともに日本酒の香りを体験

#### 【電子部品・デバイス】 キオクシア株式会社提供



#### ●展示解説

半導体を含めた電子部品・デバイス・電子回路の日本一の出荷額と、世界でも最大級の規模の半導体工場が、世界の半導体供給網において、なくてはならない重要な役割を担っています。

#### 【匠の技（鈴鹿墨）】



#### ●展示解説

鈴鹿墨は、1200年以上もの歴史がある鈴鹿市の伝統的工芸品であり、現在たった一軒（進誠堂）でのみ製造しています。墨の発色が良く、上品で深みがあるのが特徴です。

※鈴鹿墨の手触りを体験

#### 【東海道】



#### ●展示解説

江戸時代の町並みを色濃く残す東海道47番目の宿場町「関宿」。参勤交代や伊勢参りなどの交通の拠点として繁栄しました。国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

## ■ 中南勢エリア「商い」

中南勢の松阪地方からは、三井高利・竹川竹斎・本居宣長・長谷川治郎兵衛など多くの豪商や偉人を輩出した。

### 【松阪もめん】



#### ● 展示解説

天然藍の先染め糸を使い「松坂嶋」と呼ばれる縞模様が特徴の綿織物です。染め方で濃淡を表現できるので、デザインは無限にあり、かつては粋好みの江戸庶民のファッションでした。代々受け継がれてきた染め織りの技や藍のグラデーションが松阪もめんの特徴です。

※もめん生地の手触りを体験

### 【松阪牛】



#### ● 展示解説

甘くコクがある上品な香りと不飽和脂肪酸の比率が高いのが特徴の松阪牛は、豊かな自然の恵みと長い伝統の上に培われた生産者の匠の技が作り上げた「肉の芸術品」です。

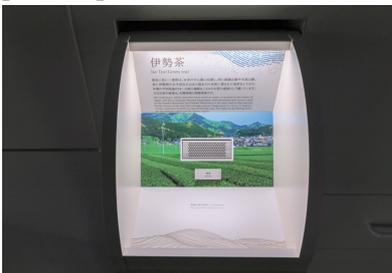
### 【松阪商人】



#### ● 展示解説

松阪地方から三井高利・竹川竹斎・本居宣長・長谷川治郎兵衛など多くの豪商や偉人を輩出しました。江戸時代、日本各地を結ぶ中心地であった江戸・日本橋にて松阪商人はこぞって出店を構えました。現在も日本橋界隈には活躍する老舗企業があり「豪商のまち・松阪」と「江戸・日本橋」は歴史的に繋がりのある場所となっています。

### 【伊勢茶】



#### ● 展示解説

南北に長い三重県は、日本の中心部に位置し、西に鈴鹿山脈や台高山脈、東に伊勢湾や太平洋など山あり海ありの自然に恵まれた地形をしており、年間の平均気温が14から15度と温暖なことからお茶の産地として適しています。主なお茶の産地は、北勢地域と南勢地域です。

※日替わりで煎茶、かぶせ茶、深蒸し茶の3種類のお茶の香りを体験

### 【うなぎ】



#### ● 展示解説

海へとつながる川の恵みをいくつも有することで、海と川を行き来する習性を持つうなぎが漁獲しやすく、ウナギの養殖も盛んであったことから良質うなぎを安価に入手できたことから、古くよりうなぎを食す習慣が根付き、うなぎ専門店も多く今も日常のささやかな贅沢として親しまれています。

## ■伊勢志摩エリア「海の恵み」

志摩半島の海は、伊勢湾の海水と黒潮とが混じり合い、豊富な栄養分を受けて数多くの海の恵みが育つ。

### 【海女漁】



#### ●展示解説

志摩半島の海は、伊勢湾の海水と黒潮とが混じり合い、豊富な栄養分を受けて数多くの海の恵みが育ちます。そこを漁場として活躍するのが海女です。海女の歴史は古く、漁法のスタイルは昔と今ではほとんど変わっていません。

※覗き穴から見えるアワビを「かぎのみ」を模した漁具で収穫する海女漁を体験

### 【海産物（伊勢海老）】



#### ●展示解説

三重県では、産卵期の5月から9月までを禁猟期間に定め、大きくなった伊勢海老だけを水揚げします。海の恵みを大切にすることがゆえの極上品。漁師たちが守る本物の三重ブランドです。

### 【先人の知恵（鯉節）】



#### ●展示解説

志摩の鯉節は古来より、伊勢神宮にお供えする神饌や朝廷への献上品として重要な役割を果たし、先人たちはこれをものづくりの原点としていました。この地域では、間伐材を使用するなど自然の循環を守りながら、伝統的な製法で鯉節を作り続けています。

※鯉節の香りを体験

### 【真珠】

ミキモト真珠島提供



#### ●展示解説

三重県における真珠養殖は、明治26（1893）年御木本幸吉が実験中のアコヤ貝から半円真珠5個を発見したことで、アコヤ貝による養殖法を発明。英虞湾を中心に発達し、発祥の地としての名声を高めてきました。

### 【てこね寿司】



#### ●展示解説

伊勢志摩の郷土料理。カツオ漁で忙しい漁師が、獲ったカツオをぶつ切りにし、調味料とごはん混ぜ合わせて、手でこねて食べたのが発祥といわれています。

## ■伊賀エリア「忍者」

伊賀に生まれた伊賀忍者は戦国時代に活躍し、今では全国に知られている。

### 【忍具】

伊賀流忍者博物館提供



#### ●展示解説

忍者といえば手裏剣を打つ姿が思い浮かびますが、実は手裏剣は大変高価なので戦いではほとんど使われず、よく使われたのが石や瓦だだと言われています。

### 【伊賀くみひも】



#### ●展示解説

絹糸を主に金銀糸などを組み糸に使い伝統的な組台でつくられる伊賀くみひもは、手で組み上げる手組みひもが有名で美しく染め上げられた絹糸が織りなす組み独特の風合いが魅力です。

### 【オオサンショウウオ】 名張市提供



#### ●展示解説

日本固有種で世界最大の両生類。スイスで発見された3千万年前の化石と今の姿がほとんど変わっていない生きた化石は、生息場所の川底に似た保護色をしており、ほとんど陸に上がりません。

### 【赤目四十八滝】



#### ●展示解説

伊賀と大和の国境を流れる滝川上流に連なる瀑布が美しい大自然のアートを作り出す赤目四十八滝。平成の名水百選、日本の滝百選、森林浴の森百選、遊歩百選に選ばれています。

※「赤目四十八滝」の音を聞く体験

### 【かたやき】



#### ●展示解説

かたやきは忍菓と呼ばれ、その昔、伊賀忍者の携帯食であったと言われます。日持ちがするので合戦地では優秀な保存食として重宝されました。

※かたやきを触って硬さを体験

## 東紀州エリア「熊野古道」

神々が宿る地、熊野。伊勢神宮と熊野三山の二大聖地を結ぶ祈りの道

### 【尾鷲わっぱ】

めし熊提供



#### ●展示解説

先代から伝統の技を受け継いだ技師が、すべて手作業で製造。現在でも天然漆を使用し45もの工程をすべて手作業で、たった一人で仕上げるため、一つのわっぱを完成させるのに約2カ月を要します。

### 【南紀みかん】



#### ●展示解説

年中みかんの採れる東紀州はみかんの聖地。三重県最南端の南紀は熊野灘に面して、めったに雪が降ることのない温暖な気候に恵まれた、みかんが年中収穫できる一大産地。太陽の光を生かし雨を遮断するマルチシート栽培で糖度が高いみかんが栽培されています。

※回転式のみかんカレンダーでその時期にとれるみかんを調べる体験

### 【さんま寿司・めはり寿司】 三重県立熊野古道センター提供



#### ●展示解説

正月など親族が集まるハレの日のごちそうとして食べられていたさんま寿司は東紀州が発祥とも言われています。また、忙しい仕事の合間でも手軽に食べられるようにと作られためはり寿司は「目を見張るように大きな口を開けて食べる」「目を見張るほどおいしい」ことから名付けられたとされています。

### 【熊野古道伊勢路「巡礼の道」】



#### ●展示解説

伊勢参宮を終えた旅人や、西国三十三カ所めぐりの巡礼者たちが辿った巡礼の道。起点の田丸で巡礼装束に身を改めた旅人が、いくつもの険しい峠を越えて、あこがれの地・熊野をめざした道です。現在、三重県・奈良県・和歌山県に広がる「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されています。

### 【森の香り】



#### ●展示解説

年輪が緻密で油分が多く光沢があり、耐朽性にも優れる尾鷲ヒノキ。強度だけでなく耐朽性も一級品で、心材に多く含まれるカジノール成分がヒノキ特有の香りとともに、高い耐朽性、抗菌性を発揮します。

※尾鷲ヒノキの香りを体験

#### ④ナビゲーションエリア

コンシェルジュを配置し、来場者一人ひとりの興味関心に応じた情報を提供するとともに、各地を紹介するタッチパネルに来場者自ら触れていただき、三重県への来訪のきっかけづくりを行いました。



記念品配布  
(井村屋ようかん)



イセシママスター  
「THE ISE-SHIM@STER」  
デジタルスタンプリリーススポット設置  
(伊勢志摩エリアと「アイドルマスター」  
シリーズとのコラボイベント)

## ■撮影スポット

県内各地の名所を背景に、三重への来訪を呼びかける手持ちポップを持って記念撮影ができるスポットを設置し、三重県ブース来場の記念撮影を行いました。

あわせて、ブース内で撮影した写真で応募ができる「三重へおいない！キャンペーン」を実施し、三重県への来訪を促しました。(P66参照)

| 日 程          | 撮影スポット        |
|--------------|---------------|
| 5月19日～28日    | 熊野古道伊勢路       |
| 7月1日～23日     | 英虞湾           |
| 7月24日～8月16日  | 伊賀上野城         |
| 8月17日～31日    | 高田本山専修寺       |
| 9月1日～14日     | 御在所ロープウェイ (秋) |
| 9月15日～27日    | 御在所ロープウェイ (冬) |
| 9月28日～10月13日 | 英虞湾           |



熊野古道伊勢路



英虞湾



伊賀上野城



高田本山専修寺



御在所ロープウェイ  
(秋)



御在所ロープウェイ  
(冬)



### (3) 特別展示

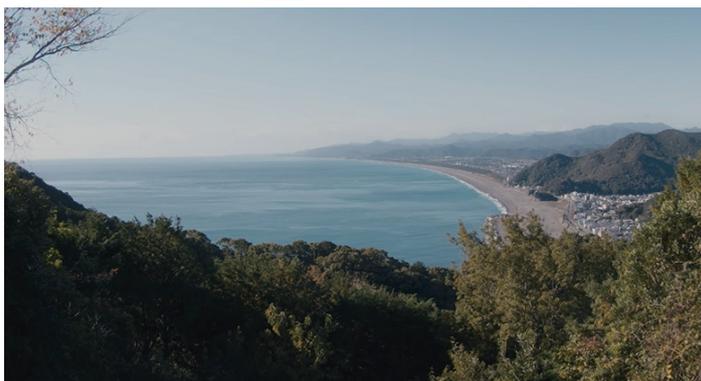
美し国みえ体験広場において、期間限定で6つの特集テーマ「熊野古道」<sup>とこわか</sup>「常若」「歴史・文化」「自然」「産業」「食」にあわせた映像の投影や特別展示を実施しました。

#### ①熊野古道 5月10日(土)から28日(水)

##### 「イマーシブ熊野古道～二大聖地を結ぶ絶景の道を歩く～」

5面スクリーンに、熊野古道を歩いているような映像を投影するとともに、川の音や小鳥のさえずりなどの現地で聞こえる自然音を流し、ヒノキの香りを漂わせることで、来場者の没入感を高め、あたかも現地にいるような体験を提供しました。

あわせて、撮影スポットも設け、熊野古道を背景に巡礼衣装体験を行いました。



## ②常若 5月29日(木)から6月18日(水)

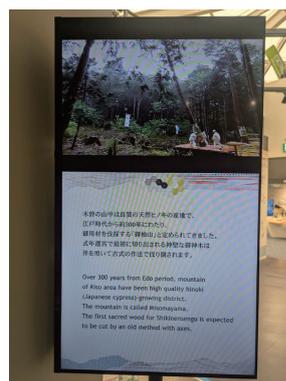
ないくしょうでんかつおぎ

### 内宮正殿鯉木(神宮司庁所蔵)

「鯉木」は、一般的に神社建築などの棟の上で使用されており、今回展示された「鯉木」は平成25(2013)年に行われた第62回神宮式年遷宮において現在の社殿に造り替えられる前の20年間、実際に内宮正殿の萱葺屋根の上で使われていたものです。

式年遷宮によって建て替えられる内宮正殿は常に若々しい生命の輝きを願う「常若」の精神が息づいています。

展示期間中は、令和7(2025)年6月3日に実施された、式年遷宮に向けて御用材を伐り始める「御杣始祭」の映像もあわせて放映しました。



◀「御杣始祭」  
映像モニター

### ③歴史・文化 7月1日(火)から23日(水)

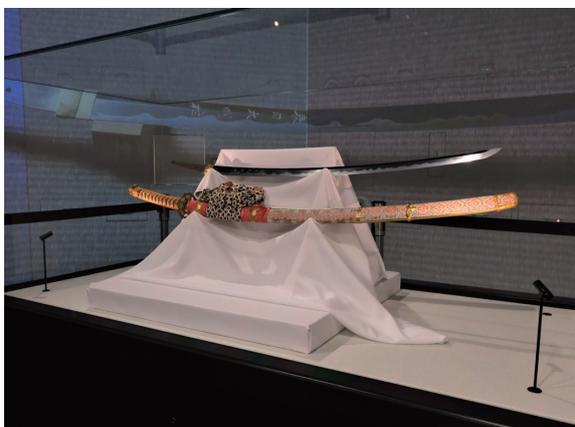
#### 宝刀「村正」(桑名宗社所蔵)



村正は伊勢国桑名(現三重県桑名市)の刀工で、室町時代の末期以降3から4代にわたり作刀していたと言われており、2代目村正が桑名宗社に二振りの太刀を奉納しました。

この二振りの太刀は桑名宗社で大切に保管されてきましたが、第二次世界大戦時に、十分な手入れができないと考えた当時の宮司によって、刀身に漆が塗られました。

この二振りの内、「春日大明神」と彫られた一振りについて、令和元(2019)年に漆を落としたところ美しい地刃があらわになりました。万博会場ではこの「春日大明神」を展示しました。



## ④自然 7月24日(木)から8月16日(土)

### 自由の鐘 (ミキモト真珠島所蔵)

「自由の鐘」はアメリカ独立宣言時に打ち鳴らされた鐘を模して作成され、真珠12,250個、ダイヤモンド366個を用い、その鐘の「ひび割れ部分」も実物と同じように青真珠で表現されています。

昭和14(1939)年にニューヨーク万国博覧会に出展され、「100万ドルの鐘」として見る人を驚かせたと言われています。出展にあたって御木本幸吉は、当時悪化しつつあった日本とアメリカとの関係を少しでも改善したいという平和への願いを込めたとされています。



## ⑤産業 8月25日(月)から9月25日(木)

### 三重の伝統産業

県内の国指定伝統的工芸品である「伊賀くみひも」「伊勢形紙」「四日市萬古焼」「鈴鹿墨」「伊賀焼」を展示するとともに、各組合にて選定された未来を担う作家・職人による「100年後に残したい伝統工芸の未来」というテーマに沿ったインタビューをパネルで展示しました。



あわせて背面の映像では、人間国宝の作品紹介や現在の三重を代表する自動車産業や半導体産業を始め、農林水産業や万博のテーマと親和性の高い取組を行うスタートアップ企業など、三重の多様な産業を紹介しました。

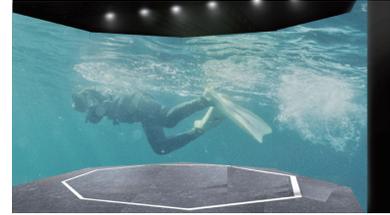


## ⑥食 9月28日(日)から10月13日(月)

### 海女漁と三重の食

海女漁(出漁～素潜り～水揚)の臨場感のある映像により、漁の様子を間近で体感いただくとともに、現役の海女をブースに招き、漁の様子などを直接来場者に伝える機会を設けました。

あわせて、「桑名のはまぐり」や「松阪牛」「南紀みかん」など食の宝庫・三重を代表する食材についても映像で紹介しました。



## (4) 市町デー

美し国みえ体験広場において、各市町の魅力を発信するイベントを開催しました。

### 市町出展内容一覧

| テーマ   | 日程     | 市町   | 内容                                 |
|-------|--------|------|------------------------------------|
| 熊野古道  | 5月 7日  | 紀北町  | 尾鷲ヒノキ うちわウッドバーニング体験                |
|       | 5月 8日  | 尾鷲市  | 尾鷲ヒノキの木札ワークショップ                    |
|       | 5月 9日  | 熊野市  | 那智黒石 勾玉磨き体験                        |
| 常若    | 6月 19日 | 伊勢市  | 伊勢根付ワークショップ                        |
|       | 6月 20日 | 明和町  | 貝覆い体験                              |
|       | 6月 21日 | 志摩市  | アコヤ真珠と組子細工を使ったオリジナルストラップづくり        |
|       | 6月 22日 | 鳥羽市  | シーグラスアクセサリづくり                      |
|       | 6月 23日 | 南伊勢町 | 真珠のストラップ作り体験                       |
|       | 6月 24日 | 度会町  | 御山杉のブレスレットづくり体験                    |
|       | 6月 25日 | 玉城町  | しめ縄づくり体験                           |
| 歴史・文化 | 6月 26日 | 松阪市  | 松阪もめん着物 着付け体験                      |
|       | 6月 27日 | 津市   | 高田本山専修寺 拓本体験                       |
|       | 6月 28日 | 菟野町  | 木メダルワークショップ                        |
|       | 6月 29日 | 桑名市  | 本多忠勝・千姫バーチャル着せ替え体験                 |
|       | 6月 30日 | 亀山市  | フルーツパフェキャンドルワークショップ                |
| 自然    | 8月 17日 | 名張市  | オリジナル苔ボトリウムづくり、滝トリックアート            |
|       | 8月 18日 | 大紀町  | オリジナルミニポーチづくり                      |
|       | 8月 20日 | 朝日町  | 竹あかり作成体験                           |
| 産業    | 8月 21日 | いなべ市 | いなべ市プロモーションイベント「すべての私たちへ」          |
|       | 8月 22日 | 伊賀市  | 伊賀焼・伊賀くみひも実演                       |
|       | 8月 23日 | 四日市市 | ♡ R de 四日市～よ！よ！よ！四日市！～ (AR 体験)     |
|       | 8月 24日 | 鈴鹿市  | 伊勢型紙を使ったポーチ染め体験<br>名前入りオリジナル鈴鹿墨づくり |
| 食     | 9月 26日 | 多気町  | 竹細工体験                              |
|       | 9月 27日 | 大台町  | オーガニックコットン製風呂敷の絵付け体験               |

■市町デー 当日の様子



紀北町「尾鷲ヒノキ うちわウッドバーニング体験」



尾鷲市「尾鷲ヒノキの木札ワークショップ」



熊野市「那智黒石 勾玉磨き体験」



伊勢市「伊勢根付ワークショップ」



明和町「貝覆い体験」



志摩市「アコヤ真珠と組子細工を使ったオリジナルストラップづくり」



鳥羽市「シーグラスアクセサリーづくり」



南伊勢町「真珠のストラップ作り体験」





度会町「御山杉のプレスレットづくり体験」



玉城町「しめ縄づくり体験」



松阪市「松阪もめん着物 着付け体験」



津市「高田本山専修寺 拓本体験」





菟野町「木メダルワークショップ」



桑名市「本多忠勝・千姫バーチャル着せ替え体験」



亀山市「フルーツパフェキャンドルワークショップ」



名張市「オリジナル苔ボトリウムづくり」「滝トリックアート」



大紀町「オリジナルミニポーチづくり」



朝日町「竹あかり作成体験」



いなべ市「いなべ市プロモーションイベント『すべての私たちへ』」



伊賀市「伊賀焼・伊賀くみひも実演」



四日市市「VR de 四日市～よ！よ！よ！四日市！～」(AR体験)



鈴鹿市「伊勢型紙を使ったポーチ染め体験」[名前入りオリジナル鈴鹿墨づくり]



多気町「竹細工体験」



大台町「オーガニックコットン製風呂敷の絵付け体験」

### 3 関連イベント

#### (1) 公式スタンプラリー

会期中、万博会場内パビリオン及び施設等にスタンプが設置され、万博来場者が来場記念として押印・収集できる公式スタンプラリーが実施されました。

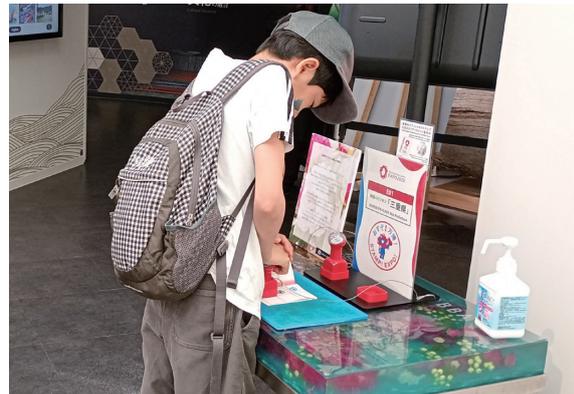
関西パビリオン内や参加している9府県それぞれのサテライト会場にもスタンプを設置しました。

##### 万博会場内

- 設置場所：三重県ブース内
- デザイン：伊勢神宮



スタンプ展示台  
株式会社エミリオ・ロバ提供



来場者がスタンプを押す様子

##### サテライト会場

- 設置場所：赤目自然歴史博物館  
(三重県名張市)
- デザイン：忍者



赤目自然歴史博物館



スタンプ設置の様子

## (2) 各種セレモニー

### ①三重県ブース内覧会

関西パビリオン開館式とあわせて「三重県ブース内覧会」を開催し、メディア関係者にお披露目しました。

**開催日時** 令和7(2025)年4月9日(水) 14時から15時15分

**開催場所** 関西パビリオン内三重県ブース前

**式次第** 開会挨拶・服部副知事挨拶

記念撮影

三重県ブース案内

服部副知事囲み取材

三重県ブース自由内覧



## ②三重県ブース来場者60万人達成セレモニー

10月4日(土)に、三重県ブースの来場者数が60万人を達成したことを記念し、セレモニーを開催しました。

**開催日時** 令和7(2025)年10月4日(土) 13時から

**内容** 60万人目の来場者をアテンダントによる特別観覧ツアーに招待し、記念品を贈呈。また、スペシャルゲストとして登場したミャクミャクとの記念撮影を実施

**60万人目の来場者** 和歌山県からお越しの亀井さんご家族(5名)  
記念セレモニーでの感想「60万人目と言われた時はとても驚きました。三重県ブースの展示を楽しむことができ、これを機に三重県に旅行に行きたいです。」

**記念品の内容** 「美し国」みえの魅力満載食卓グルメセット(5万円相当)  
県内5地域から厳選した三重の食材「伊賀米(伊賀)」「松阪牛(中南勢)」「海産物(伊勢志摩)」「伊勢茶(北勢)」「みかんジュース(東紀州)」



### (3) EXPO アテンダント×キャラクター ワールドフェスティバルへの出演

大阪府、大阪市、公益社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオンが開催した当イベントに、関西パビリオンとして、三重県ブースアテンダントと「第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～」の大会応援マスコット「とこまる」が出演しました。

- 開催日時** 令和7(2025)年9月16日(火) 16時から18時30分
- 開催場所** EXPOホール「シャインハット」 ※パレードの実施は大屋根リング下
- 主催** 大阪府、大阪市、公益社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン
- プログラム** オープニングアクト 大阪桐蔭高等学校による吹奏楽ステージ  
EXPO マスコットキャラクターステージ  
EXPO アテンダントステージ  
EXPO パレード



EXPO マスコットキャラクターワールドカップ



EXPO アテンダントファッションショー

